

【22_178技術系メルマガ】まず『1本の幹』を育てるところから

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

6月もいよいよラストの週となりますが、お互い頑張っていきましょう！

今回のメルマガのテーマは、『型』を作り、完成させる家庭で多くの人がぶつかるであろう「壁」を乗り越えるための考え方についてです。

□
└─ ■ 「あれもこれも、、、」は成長の妨げ
└──────────────────

今、『デイトレ講座』のメールの中でも、まず一つの『型』を作るためのモデルケースとして

『MA収縮』+『3波理論』が成り立つポイントを集中的に狙う考え方を提示していますが

取り組んでいるうちに、「こういう場所も狙えるのではないか？」という

新たなアイデアがよぎる事もありますよね。

たとえば、先日こんな質問もいただきました。

～～

MAの収縮の際に、20, 40, 50, 100とすべて収縮していてそのMAたちをレートが上抜けて

(ロングの場合)そこから押しが入り3波を狙うというのが完璧な状態だと思うのですが

上位足がすでにトレンドをつけている場合、短期足では20, 40, 50, 100、すべてのMAでの収縮は

なかなかないと思うのですが、その場合短期足では20, 40, 50のSMAでの収縮を主に考えて大丈夫でしょうか？

～～

要するに、具体的にチャートで示すならこんな場所だと思われま

▼チャート例▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2022-06-27.png

もちろん、追々このようなチャートを『型』と認識してトレードするのは良いと思いま

実際LN時間に大きく動いた後で、NY時間のチャンスを探る場合

このような場面で僕自身もトレードを行うことが多いです。

ですが、これはあくまでも『幹』となる技術が土台にあって出来る、応用のトレードと考えていま

原則として、『MA収縮』と『3波』を組み合わせるとトレードするというのは

トレードにおける 基本動作 の一つと言える、『(力を溜める)揉み合いから、大きく伸びる初動』を狙うことです。

このように、流れに乗せたトレンドフォローというのは

ストップの置き位置を一貫して(なるべく小さく)置くことが難しい場合が多く

実のところ、型を作り始めたビギナー向きの環境ではないのです。

こういう場面で変な位置からエントリーする事で、底売りや高値掴みをしてしまい

損失を膨らませてしまう例を多く見てきたので、このようなトレードを行うのは

まず基本となるトレードを一貫して行えるようになってから取り組むのも遅くはない。

これはいわゆる、『派生・枝葉の技術』です。

結構前にツイートしたのですが、このような「枝葉の技術」というのは

『幹』となる基本の型の精度を高める過程で、自然と身についてくることが多いです。

▼当時のツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1539423307006885888?s=20&t=Daj_tY85ZOz4npfHQ9vPbw

というのも、何度も何度も同じパターンを繰り返し狙い撃ちするトレードが習慣づいてくると
沢山チャートを見ている中で、第二、第三の典型パターンのようなものが見えてくるようになり
『派生のパターン』として自然に母数が集まり、それが次の『型』として出来上がってくるのです。

そんなわけで、最初から「あれも、これも、、、」と枝葉を伸ばそうとし過ぎると
肝心な『幹』の育成がおろそかになってしまい、骨の太い『型』になりません。

こういう技術の蓄積は、決して結果を焦ってはいけません。

周りの成果を目の当たりにして焦ってしまう気持ちもあるかもしれませんが
それこそが自分の本来の成長を妨げる「罨」です。

まずは『1本の幹』となる『型』を着実に育てつつ、その過程の中での気づきを日々記録しながら
自然と枝葉が育っていく状態を作っていきましょう。